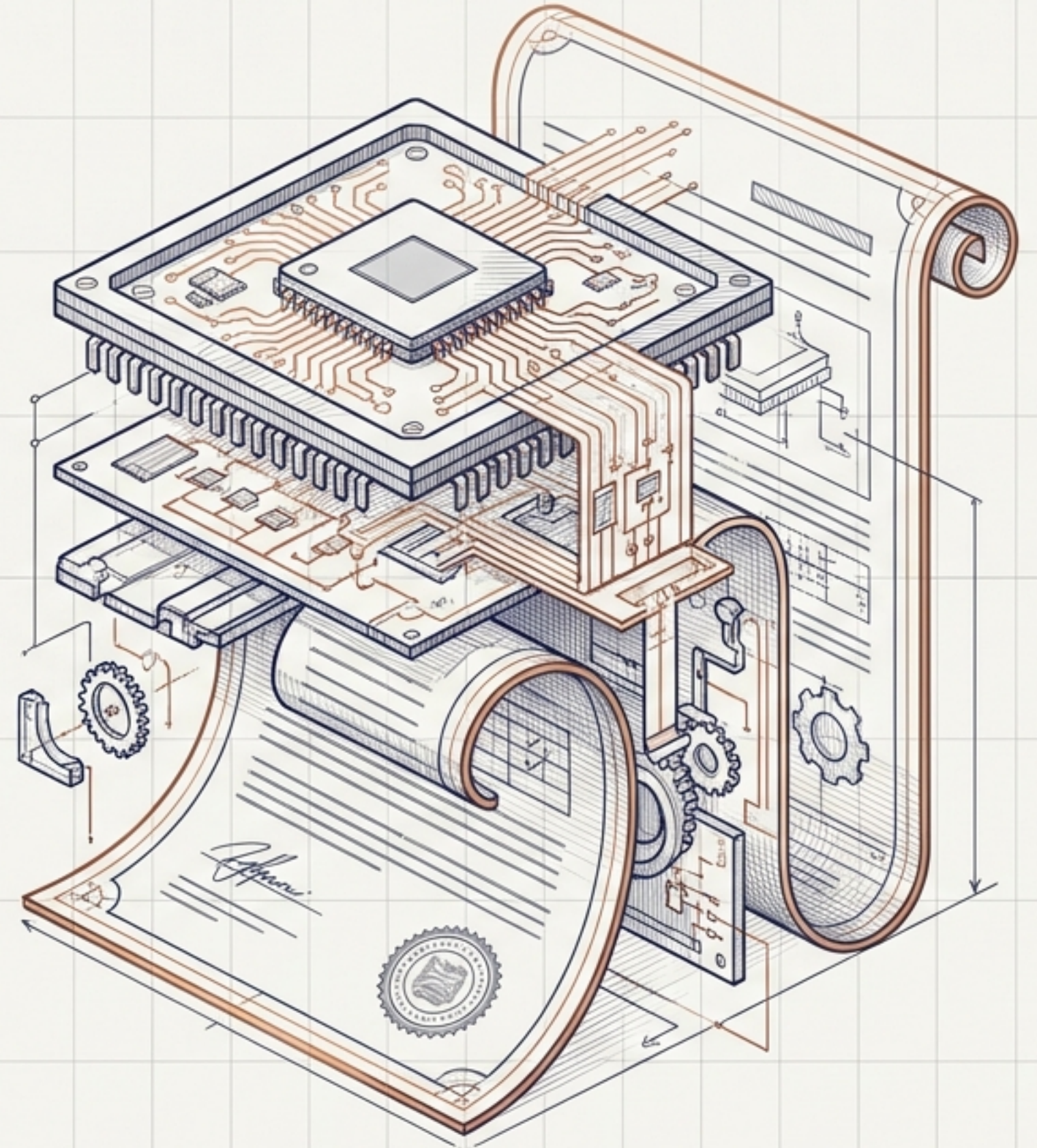


# 次世代知財戦略の設計 図：エージェント型AIへ 進化と実務変革

GPT-5.6およびChatGPT Workの  
登場が特許・知財業務にもたらす  
パラダイムシフトと競合分析

2026年7月

Manus AI レポート準拠



# 対話型アシスタントから、自律実行型エージェントへ

## 従来のAI（対話型）



- 一問一答式
- テキスト出力のみ
- 人間がプロセスを管理

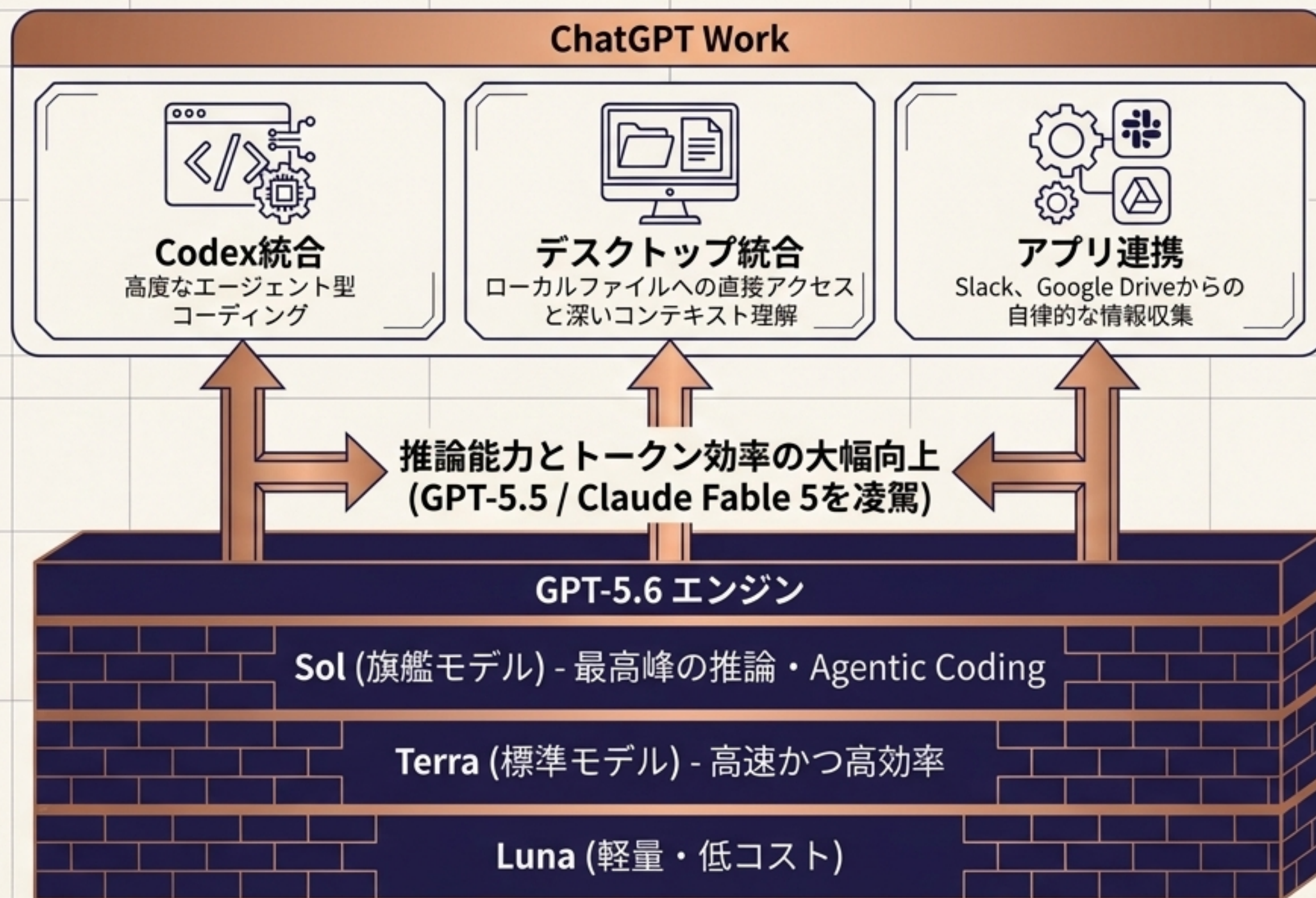
## ChatGPT Work (2026年7月9日発表)



- 自律的なタスク実行
- 数時間に及ぶバックグラウンド処理
- 最終成果物（スライド、Webアプリ等）の直接生成

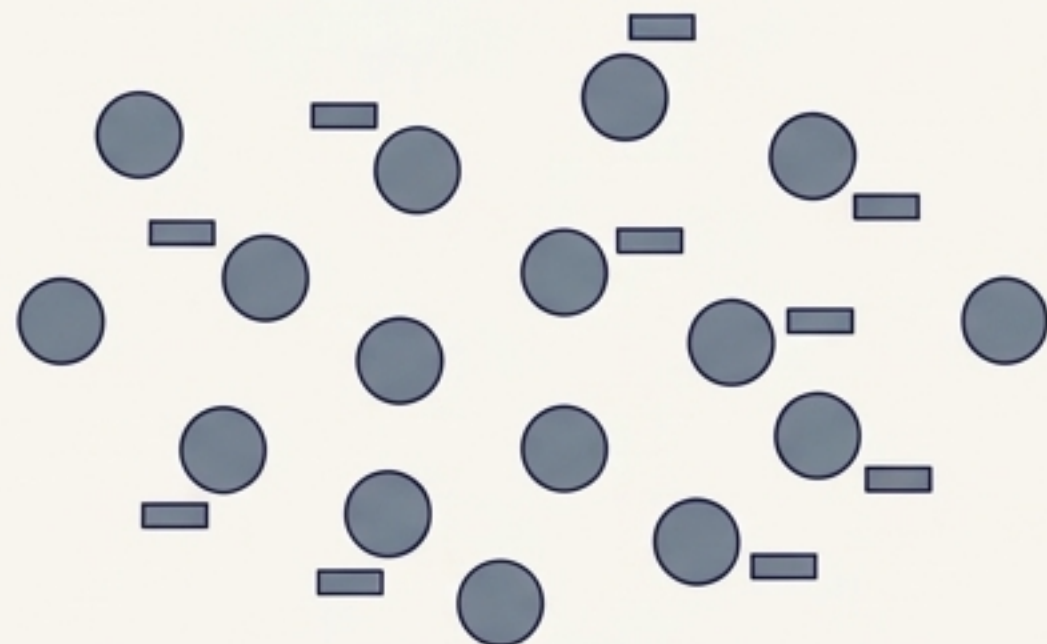
単なるテキスト生成を超え、仕事の成果物を納品する『同僚』への進化

# 新世代AIエンジンの技術解剖：GPT-5.6 × ChatGPT Work



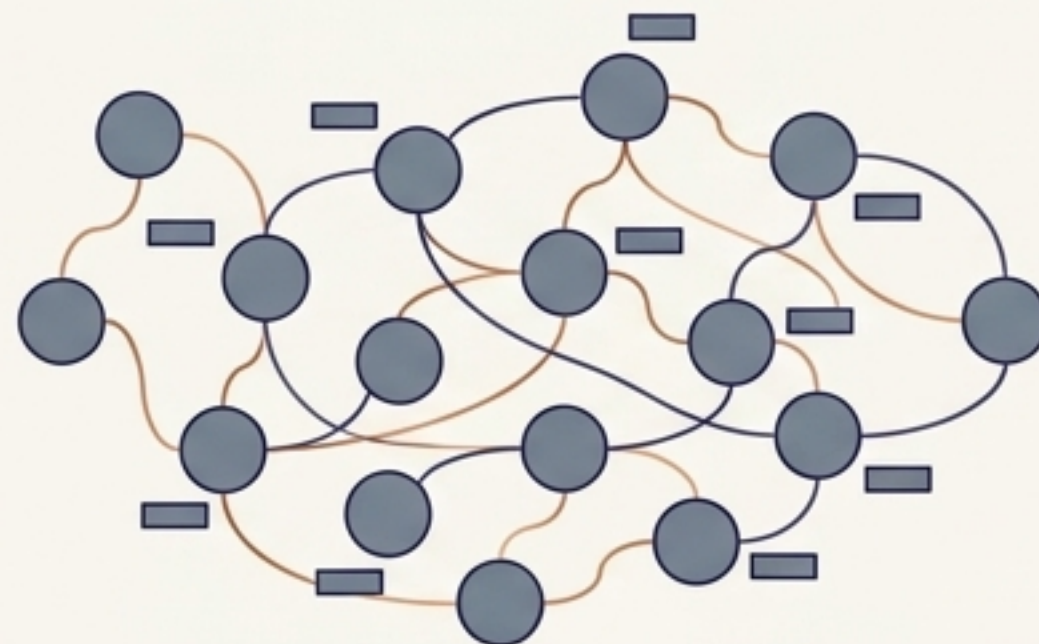
# 知財業務の変革（1/3）：先行技術調査の高度化

## キーワード・ブール演算検索



課題: 表記揺れや言語の違いによる  
先行技術の見落とし。

## セマンティック検索と自律型調査



### 広範な概念検索:

異なる用語や言語でも、概念的類似性をAIが見出し、  
高精度に抽出。

### 自律的なモニタリング:

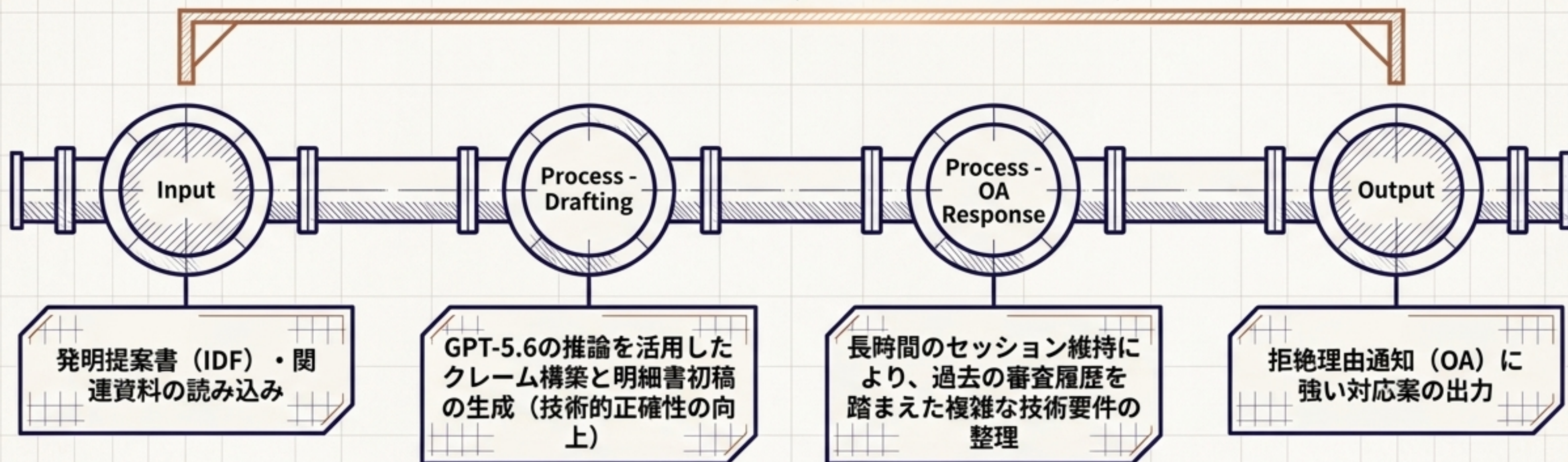
[公開情報の  
定点観測]

[FTO・競合リスク  
の分析]

[知財部門への自動  
アラートレポート発行]

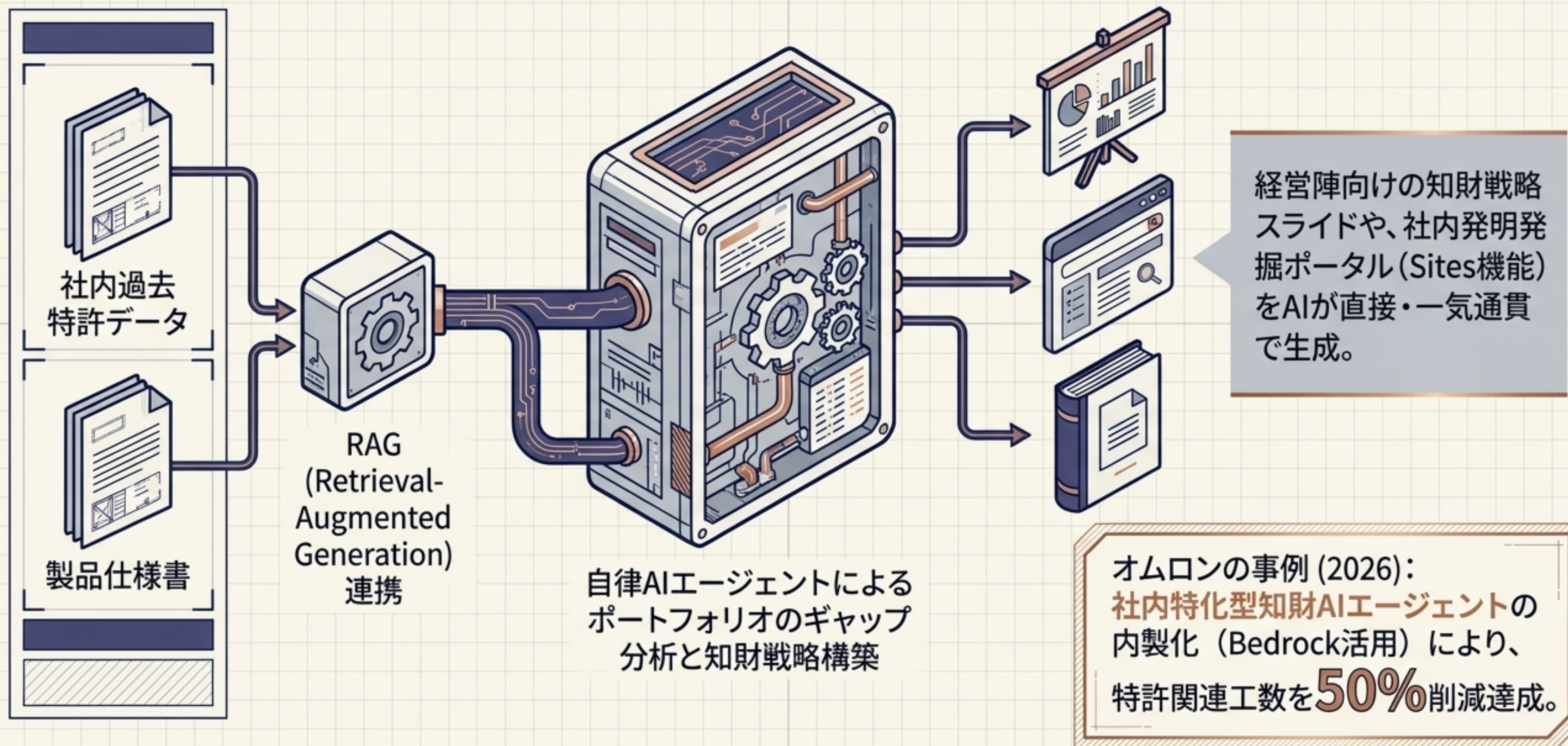
# 知財業務の変革 (2/3) : 明細書作成とOA対応の半自動化

## コンテキストの保持 (Context Retention)

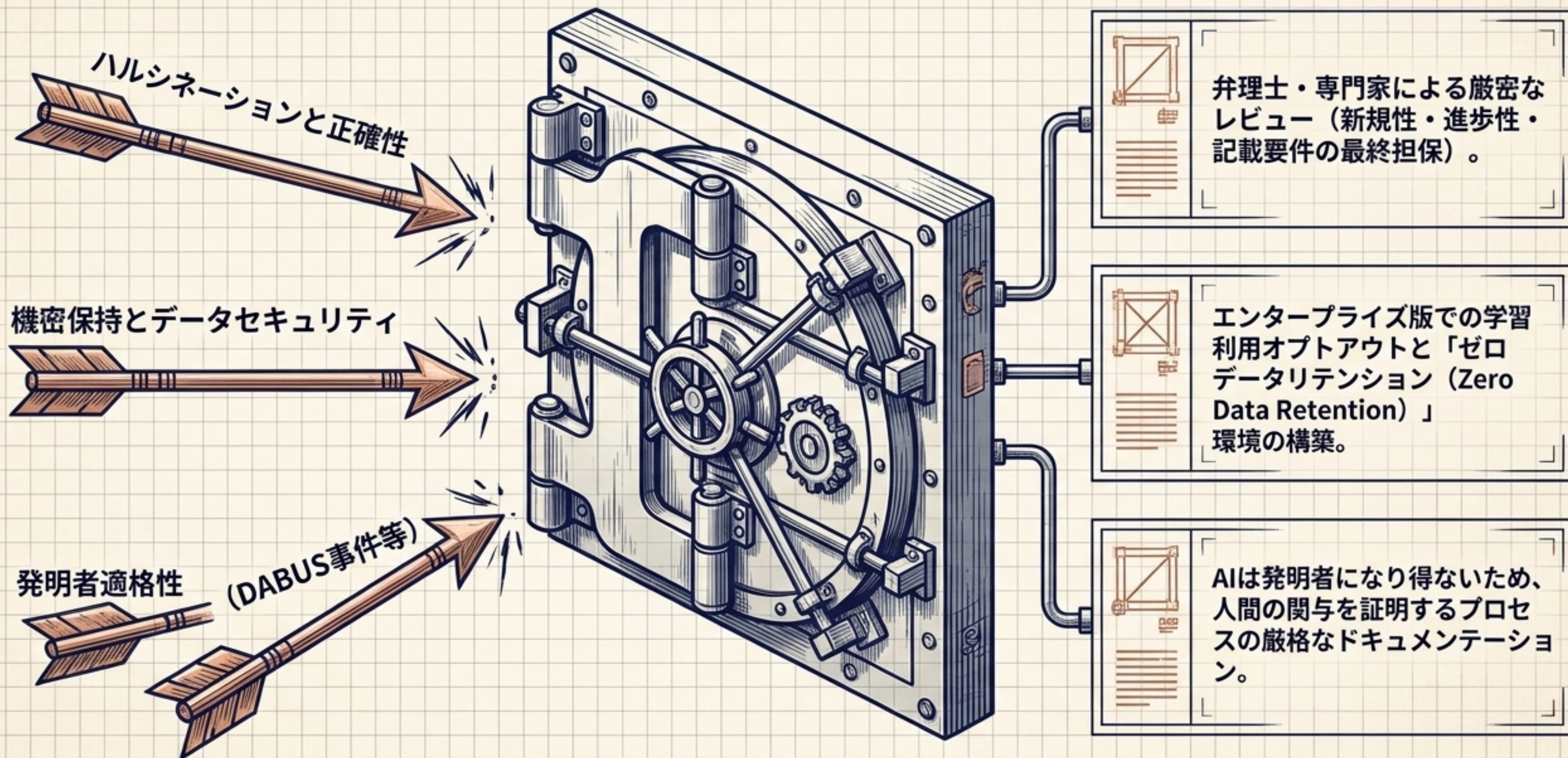


圧倒的なコンテキスト維持能力により、単発の文章生成ではなく、出願から審査対応までの一貫した論理構築が可能に。

# 知財業務の変革 (3/3) : 知財戦略とポートフォリオ分析



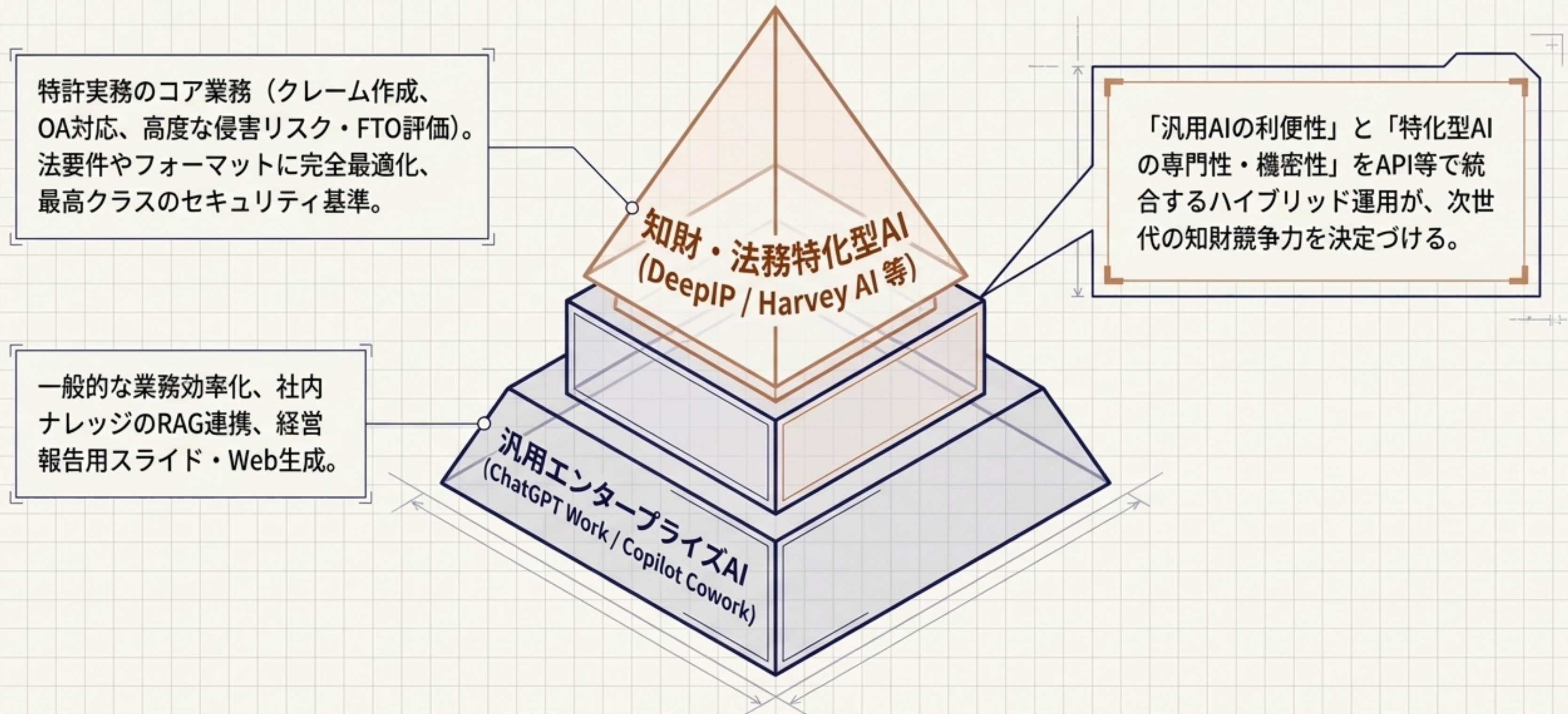
# リスクマネジメント：厳密性が求められる知財分野の防御策



# エンタープライズAI 競合・適合性比較マトリクス

| 製品名                              | コアの強み                                                | 知財業務への適合領域                                   |
|----------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| ChatGPT Work (GPT-5.6)           | Codex統合、デスクトップ連携、 <u>成果物（スライド/Web）直接生成</u> 。         | 複雑な明細書作成、広範な先行技術調査、経営層向けレポート作成。              |
| Claude Cowork (Anthropic)        | 圧倒的な <u>コンテキスト長</u> 、高い安全性と推論能力。                     | 大量の特許文献（長文）の読み込み・要約、 <u>法務的正確性</u> が求められる分析。 |
| Copilot Cowork (Microsoft)       | M365（Word, SharePoint）との <u>完全統合</u> 、エンタープライズガバナンス。 | <u>既存業務フロー</u> （Word上でのドラフト作成）へのシームレスな導入。    |
| Gemini Enterprise Agent (Google) | <u>マルチモーダル処理能力</u> 、大規模データ連携。                        | <u>特許図面</u> などの画像を含む技術文献の解析。                 |

# 戦略的提言：「ハイブリッドAIスタック」の構築

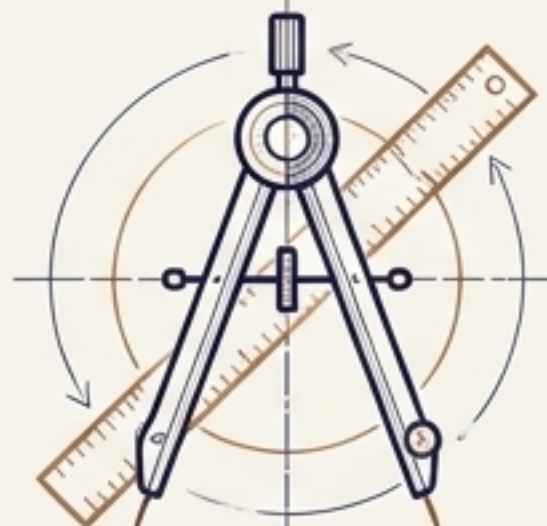


# Executive Summary: 知財組織の再定義



## パラダイムの転換

AIは「質問に答えるツール」から、「自律的に納品まで行うチームメンバー」へ。



## プロセスの再構築

調査の自動化、明細書の半自動化、戦略立案の高度化による劇的な工数削減 (例：50%減) の実現。



## テクノロジーの最適配置

汎用AIと知財特化型AIの「ハイブリッドAIスタック」による、セキュリティと専門性の両立。